

第1学年 美術科の学習について

1 身に付けさせたい基礎・基本

- ・楽しく活動に取り組み、美術を通して心豊かな生活を想像する意欲と態度
- ・対象から豊かに発想し、意図に応じて創意工夫し美しく表現する技能
- ・他者の作品への関心を高め、認め合う鑑賞の能力

2 学習の留意点

- ・授業の時間を大切に、作業に集中して取り組もう。
- ・作品を大切にし、いろいろな人の表現のよさを感じ取ろう。
- ・作品は期限までに提出できるよう制作を進めよう。

3 学習の到達目標

① 知識・技能

- ・基本的な知識・技能をもとに、観察して絵画や立体に表すことができる。
- ・基本的な知識・技能をもとに、色や形を工夫して表現することができる。
- ・丁寧に作品を完成させることができる。

② 思考・判断・表現

- ・構成や表現方法を工夫し、計画的に進めることができる。
- ・計画やアイデアを言葉やスケッチに表すことができる。
- ・お互いの作品の良さを感じ取り、作品を大切にし、感想に表すことができる。
- ・いろいろな作品や作家から感じ取ったことや、自分なりの視点をレポートや感想で表すことができる。

③ 主体的に学習に取り組む態度

- ・基本的な内容を理解して落ち着いて作業し、進んで取り組むことができる。(一生懸命さ)
- ・自分で工夫して制作し、いろいろな表現、作品、作家に興味をもつことができる。
- ・お互いの活動を大切にし、教室や用具を使うことができる。

4 評価について

美術科では、上記（学習の到達目標）にある3観点について、授業中の活動や作品・提出物などにより、評価をしていきます。また、評定については、その評価をもとに5段階で表します。

例) 5 AAA

4 AAB

3 ABB、BBB、BBC

2 BCC

1 CCC

5 年間指導計画

1 学期		2 学期		3 学期	
4 月	オリエンテーション	9 月	鑑賞（夏宿～風景画）	1 月	平面構成
5 月	明暗	10 月	自然物の構成	2 月	
6 月	手のデッサン 静物画			11 月	
7 月	夏休みの宿題（風景画）	12 月	鑑賞（DVD）	3 月	鑑賞（1年間のまとめ）

順序や内容を一部変更することがあります。

第2学年 美術科の学習について

1 身に付けさせたい基礎・基本

- ・主体的に活動に取り組み、美術を通して心豊かな生活を想像する意欲と態度
- ・対象から深く豊かに発想し、自分の意図に応じて創意工夫し創造的に表現する技能
- ・他者の作品への関心を深め、認め合う鑑賞の能力

2 学習の留意点

- ・授業の時間を大切に、作業に集中して取り組もう。
- ・作品を大切にし、いろいろな表現のよさを感じ取ろう。
- ・作品は期限までに提出できるよう計画的に制作を進めよう。

3 学習の到達目標

① 知識・技能

- ・基本的な知識・技能をもとに、自分の作品を表現することができる。
- ・目的に合った材料や、技法を工夫して表現することができる。
- ・材料や技法を活かし、作品を丁寧に完成させることができる。

② 思考・判断・表現

- ・構成や表現方法を工夫し、計画的に進めることができる。
- ・計画やアイデアを言葉やスケッチに表すことができる。
- ・お互いの作品の良さを感じ取り、作品を大切にし、感想に表すことができる。
- ・いろいろな作品や作家から感じ取ったことや、自分なりの視点をレポートや感想で表すことができる。

③ 主体的に学習に取り組む態度

- ・基本的な内容を理解して落ち着いて作業し、進んで取り組むことができる。(一生懸命さ)
- ・自分で工夫して制作し、いろいろな表現、作品、作家に興味をもつことができる。
- ・お互いの活動を大切にし、教室や用具を使うことができる。

4 評価について

美術科では、上記（学習の到達目標）にある3観点について、授業中の活動や作品・提出物などにより、評価をしていきます。また、評定については、その評価をもとに5段階で表します。

例) 5 AAA

4 AAB

3 ABB、BBB、BBC

2 BCC

1 CCC

5 年間指導計画

1学期		2学期		3学期	
4月	オリエンテーション	9月	鑑賞 (夏宿～美術館)	1月	陶芸
5月	静物画		絵文字		
6月	レタリング	10月		2月	
		11月			
7月	夏休みの宿題(美術館めぐり)	12月	鑑賞(DVD)	3月	鑑賞(1年間のまとめ)

順序や内容を一部変更することがあります。

第3学年 美術科の学習について

1 身に付けさせたい基礎・基本

- ・主体的に活動に取り組み、美術を通して心豊かな生活を想像する意欲と態度
- ・対象から深く豊かに発想し、自分の意図に応じて創意工夫し創造的に表現する技能
- ・他者の作品への関心を深め、認め合う鑑賞の能力

2 学習の留意点

- ・授業の時間を大切に、作業に集中して取り組もう。
- ・作品を大切にし、いろいろな表現のよさを感じ取ろう。
- ・作品は期限までに提出できるよう計画的に制作を進めよう。

3 学習の到達目標

① 知識・技能

- ・基本的な知識・技能をもとに、自分の作品を表現することができる。
- ・今までの経験を活かし、目的に合った材料や、技法を工夫して表現することができる。
- ・自分の表したいイメージを持ち、作品を丁寧に完成させることができる。

② 思考・判断・表現

- ・構成や表現方法を工夫し、計画的に進めることができる。
- ・計画やアイデアを言葉やスケッチに表すことができる。
- ・お互いの作品の良さを感じ取り、作品を大切にし、感想に表すことができる。
- ・いろいろな作品や作家から感じ取ったことや、自分なりの視点をレポートや感想で表すことができる。

③ 主体的に学習に取り組む態度

- ・基本的な内容を理解して落ち着いて作業し、進んで取り組むことができる。(一生懸命さ)
- ・自分で工夫して制作し、いろいろな表現、作品、作家に興味をもつことができる。
- ・お互いの活動を大切にし、教室や用具を使うことができる。

4 評価について

美術科では、上記（学習の到達目標）にある3観点について、授業中の活動や作品・提出物などにより、評価をしていきます。また、評定については、その評価をもとに5段階で表します。

例) 5 AAA

4 AAB

3 ABB、BBB、BBC

2 BCC

1 CCC

5 年間指導計画

1 学期		2 学期		3 学期	
4 月	オリエンテーション	9 月	てんこく	1 月	自由画
5 月	石こうデッサン	10 月	(印面～彫り) (持ち手～デザイン)	2 月	
6 月	てんこく (印面～デザイン)	11 月	(持ち手～彫り)		
7 月		12 月	鑑賞 (DVD)	3 月	鑑賞 (1年間のまとめ)

順序や内容を一部変更することがあります。